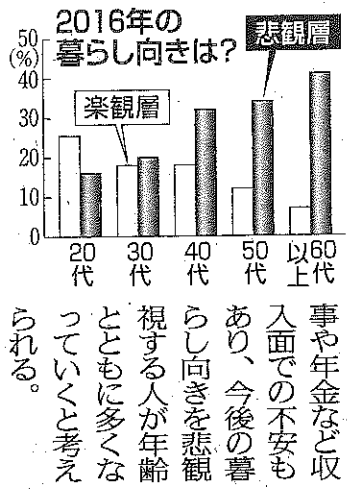


今年暮らし 高年齢ほど悲観

市場調査会社ジーコムまとめ、随時掲載



※福岡県在住494人へのインターネット調査(2015年12月)

世代別に見ると、若い人ほど楽観層の割合が高く、年齢が上がるにつれて悲観層の割合が高くなる。退職後の仕事や年金など収入面での不安もあり、今後の暮らし向きを悲観視する人が年齢とともに多くなっていくと考えられる。

福岡県に住む20歳以上の男女に、2016年の自分自身の暮らし向きを予想してもらった。「良くなる」「どちらかというと良くなる」と回答した「楽観層」は14・8%。一方、「悪くなる」「どちらかというと悪くなる」と回答した「悲観層」は33・8%だった。